

尼崎市地域公共交通会議部会資料
資 料 第 3 号
平 成 2 7 年 3 月 2 6 日

市内開発状況等を踏まえた

## バス路線展開等について

尼崎市

## 1 市内開発状況

### (1) 兵庫県立尼崎総合医療センターの開院

#### ア 状況

兵庫県立尼崎総合医療センター（以下「医療センター」という。）は、兵庫県立尼崎病院及び兵庫県立塚口病院の統合に伴い、東難波町 2 丁目（尼崎産業高校跡地）に E R 型救命救急センター、総合周産期母子医療センター、循環器センターを含む 39 診療科の高度医療提供病院として平成 27 年 7 月 1 日に開院予定である。

開院後については、患者・職員を合わせ 1 日あたり 3,600 人以上の流動が発生する見込みであり、バス需要の増加に対応するための増便・ダイヤ変更を実施する必要がある。

#### イ 対応

平成 27 年度末の事業の民間移譲を控え、交通局としては増員・増車が困難な状況の中、市内 3 鉄道の中心駅から医療センターを結ぶ路線について、医療センター開院時間帯を中心とした他事業者との共同運行や新停留所の設置などの対応を行う。

経路	交通局		共同運行（増加分）	
	経路	運行本数	相手方	運行本数
JR尼崎 医療センター	50番	58本	阪神バス(株)	34本
阪急塚口 医療センター 阪神尼崎	13番	140本	尼崎交通事業振興(株)	50本

運行本数はいずれも平日で現時点の予定

### (2) JR 尼崎駅西アンダーパス（長洲久々線）の開通

#### ア 状況

交通の円滑化を図るなどの目的で、JR 尼崎駅西に位置する「開かずの踏切」である池田街道踏切を除去し、立体交差（アンダーパス）を設置する工事が現在行われており、平成 27 年 11 月以降に開通する予定である。

このアンダーパスが開通すれば、JR 尼崎北側から阪神尼崎方面への短絡的で利便性の高い経路設定が可能となる。

#### イ 対応

11 番（阪急園田 JR 尼崎（北） 阪神尼崎）については、アンダーパスを経路とすることにより、より短絡的な運行が可能となることから、経路変更を実施するなど、乗客流動等を勘案した対応を行っていく。

以上